



エスペラントの日 2026：持続可能な開発（未来）とボランティア活動

7月26日は「エスペラントの日」です。今から139年前、国際共通語エスペラントが誕生した記念すべき日を私たちは迎えます。エスペラントは、「対等な条件のもとでコミュニケーションを図り、人々の距離を縮める」という、シンプルでありながら、今の時代にこそ深く求められる目的のために生み出されました。単なるひとつの人工的な言語という枠を超え、世界中のボランティア活動、相互協力、そして文化相互の敬意に支えられた「国際的な運動」を象徴しています。

ボランティア活動は、世界規模で展開するエスペラント組織を支える重要な柱のひとつです。それは「世界人権宣言」を尊重する姿勢と同様であり、現代においては、国連が掲げる「持続可能な開発のための17の目標（SDGs）」へ貢献するための取り組みでもあります。これらの組織による日々の活動は、国際的な連帯を促し、誰一人取り残さず互いを受け入れ、協力し合い、格差を是正して、グローバルなパートナーシップを強化することにつながっています。

例えば、言葉の壁を解消して、誰もが学びの場へアクセスできるようにする「ボランティアによるエスペラント講習」は、SDGs目標4の「（質の高い）教育」に大きく貢献しています。同じように、私たちは特定の言語による支配（言語帝国主義）に頼ることなく、異なる文化を持つ人々が対等に話し合える環境を整えることで、目標16の「平和と公正をすべての人に」にも寄与し、平和の文化を構築しています。

すべての人にとってより良く、より公平で、持続可能な世界（未来）を築くことは、政府の政策だけで実現できるものではありません。共通の利益（みんなの幸せ）のために協力しようと決意した、市民一人ひとりのボランティア精神と主体的な関わりがあってこそ成し遂げられます。エスペラントは、ボランティア活動、教育、そして文化を超えた対話を結びつけることで、この未来づくりが「全員で力を合わせて進める共同の取り組み（共同作業）」であることを、常に体現しています。現在、国連総会議長を務めるアンナレーナ・ベアボック氏が「私たちは一緒なら、より良くなれる（Better Together / エス訳：pli bonaj kune）」と強調したように、私たちは共に歩むことで最大の力を発揮できるのです。

私たちは、国際社会のすべての人々に向けて呼びかけます。普遍的な平等に基づき、一人ひとりの違いの価値を認め合いながら、確かな協力関係を築くための道具として、私たちと一緒にエスペラントを体験してみませんか。8月1日から8日まで、オーストリアのグラーツで開催される「第111回世界エスペラント大会」で皆様とお会いできることを楽しみにしております。